

がんばれサークル⑩



ふたつ 広報

頌春

1月 '86 No.286



あけまして おめでとうございます

▲市役所屋上からの富士山



福生市長 田村匡雄

市民の皆さんあけましておめでとうございます。

昭和六十一年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は、国の行政改革の大きなうねりの中で、さまざまな影響を受けながらも、市の健全な行財政運営に努めてまいりました。

お陰をもちまして、当市は現在着実な歩みを続けておりますが、これもひとえに、市民の皆さんの市政に対する関心の深さと、格別のご理解、ご協力の賜であるところから深く感謝申し上げる次第です。本年も尚、国、地方を通じ行財政をとりまく環境は厳しいものと思われませんが、「簡素にして効率的な市政」の実現のために、ただ今行政改革審議会でご検討をいたしております行政改革につきましましては、その結果を尊重し、推し進

めるべく意を新にしております。また同時に「活力ある市民のまち福生市」を目指し、豊かな人間性を育むための、きめ細かい諸施策の実施や、高齢化、急速な情報化社会への柔軟な対応にも常に心掛けていきたいと思っております。

ハードからソフトへの移行の時代といわれる中で「人間の心」の問題が大きく問われている今日、21世紀を担う健全な青少年の育成はつきることのない課題であり何にもまして、心豊かな人間を生み出す土壌が求められています。

幸い、当市は昨年完成した市営競技場や田園会館等を加え、既に多くの誇れる施設が整い、下水道整備率は98・6%に達しています。これらのソフトな面での充実を今後も引き続き図り、思いやりのある、しかも意欲的な市民のあふれる福生市を築いてまいりたいと思っております。

本年は、懸案でありました福生駅西口広場公園の整備の事業も具体化してまいりますので、他の予定された事業とともに市民の声を体して実施に努めてまいります。市民の皆さんの一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

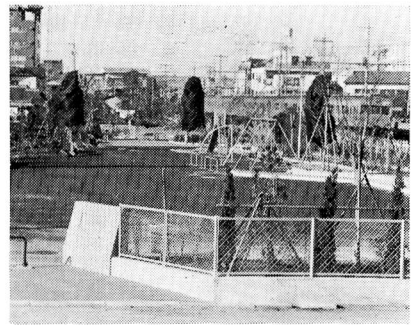
新年にあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

熊牛公園 長沢公園が誕生

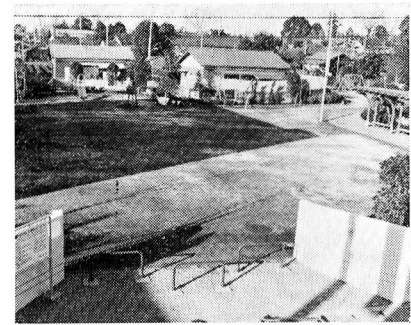
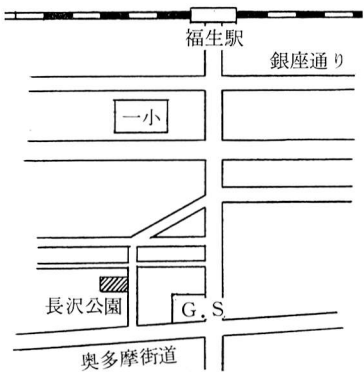
市民の憩いの場として親しまれている公園に、1月から「熊牛公園」と「長沢公園」が同時に開園しました。それぞれの園内には、子ども達のために、ブランコやシ

ソー、砂場などを配置し中央には多目的に使用できる広場があり、地域のコミュニティの場としてもご利用できます。

また、樹木や遊具を大切に、ゴミ等はクズカゴに捨てるなど、あとから利用する人に不快感をあたえないよう心がけて使いまし



▲熊牛公園



▲長沢公園

図書館だより

今年も

ご利用ください

あけましておめでとうございませう。今年も昨年同様、よろしくお願いいたします。

今年の干支は寅です。十二支のそれぞれに動物をあてはめたのは中国の漢の時代だそうです。ただなぜ、子にはねずみ、寅には虎というふうにあてはめられたのか不明だそうです。ただ、漢の時代の農民の絵暦に由来するのではと言われているそうです。

図書館では、いろいろな疑問に答えられるように、心がけております。どうぞ、気軽にご相談ください。今年も、いろいろな顔をもった本たちと一緒に、お待ちしております。

シリーズII

子どもと本の話

先日科学読み物についての講演をさせていただきました。『食虫植物のひみつ』などの著書で知られる、清水清氏の言葉が印象的でした。「小さな子どもは、みんな自然や

生き物が大好きです。でも大きくなるにつれて興味が薄れていくのは、お母さんが昆虫などの生物をあまり好きじゃないからです。特に女の子は、お母さんの影響が大きいようです。」

虫の大好きな子どもが、ポウフラやゴキブリまでも熱心に飼育していたので、お母さんも次第に慣れ、今では全然平気になってしまった、というすばらしい話を耳にしました。子どもが新しい科学の世界へ足を踏み入れようとしている時、お母さんが芽をつんでしまふのは残念なことです。ポウフラは飼えなくても科学の絵本ならば、お母さんも一緒に楽しめます。科学絵本には、『かわ』、『ゆきのひ』などの社会現象を扱ったものの、『たねのりょうこう』、『じめんのうえとじめんのした』のように自然現象を扱った絵本、または『ゆかいなかえる』のような物語絵本などがあります。

科学だからといって、何かを教える、学ばせるということではなく、物語絵本の時と同様に、楽しみながら、自然に対する驚きや、喜びを、お母さんも共に味わってみてはいかがでしょうか。



市政世論調査 まとまる

昨年実施した市政世論調査の結果がまとまりましたので、そのあらましをお知らせします。
この調査は、市民の声を市政に反映させ、よりよいまちづくりに役立てるために行ったものです。

調査の方法

- 対象者** 市内在住の満20歳以上の市民 男女 1,000人
 - 抽出方法** 昭和60年4月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
 - 調査方法** 調査員の個別面接法
 - 調査期間** 昭和60年7月5日～22日
 - 回収率** 81.2パーセント
- くわしくは、企画財政課市民相談係 (☎51-1511内線218) へ。

■定住意識

市民の4割が昭和50年度以降の転入者で、居住歴が浅いにもかかわらず「ずっと住み続けたい」、自分の間住みたい」の定住意向が80%とかなり高くなっています。(図1) なお前回調査(昭和57年実施)に比べると6%下がっています。

図1 定住意向(時系列)

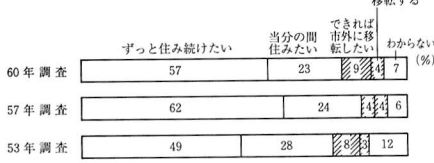
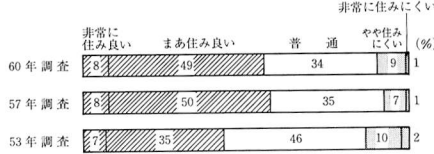


図2 総合評価



■生活環境の評価

市全体を総合した住み良さについて「住み良い」という人が57% (図2)で、前回と比べそれほど変化はありませんが地域の生活環境の評価では、個別的にかなり厳しい評価がみられました。「非常に満足」「まあ満足」を合わせた満足率では、6項目が50%を越えた

■福生市の将来像

市の将来像としては、第1位が「緑に囲まれ、落ちついた住宅のまち」第2位が「空気や水のきれいな公害のないまち」となっています。これは前回と同じ結果であり、市民のいづく将来像は、自然環境に恵まれた田園的な住宅都市や公害のない健康都市が理想とされています。(図4)

図4 将来像

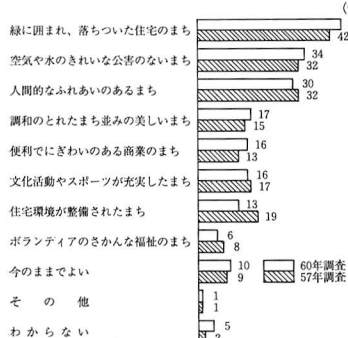
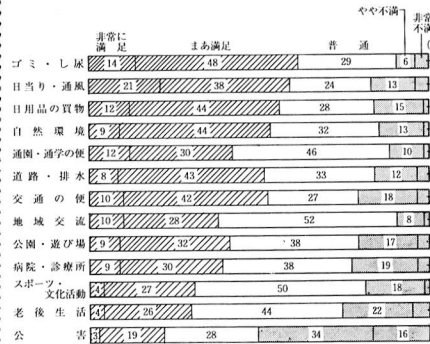


図3 地域の生活環境

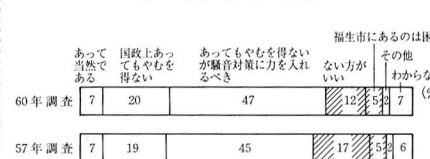


のに対し、7項目が50%を下まわっています。また「普通」の中立的評価を含めると、13項目中12項目が7割以上の好意的評価で占められています。が、「騒音、振動、大気汚染などの公害」については、不満足評価が50%に達した唯一の項目となっています。(図3)

■横田基地

横田基地については「あって当然である」が7%、「あってもやむを得ない」が20%、「あってもやむを得ないが、騒音対策や生活環境整備に力を入れるべきだ」が47%と肯定、容認の立場が74%とな

図5 横田基地の賛否

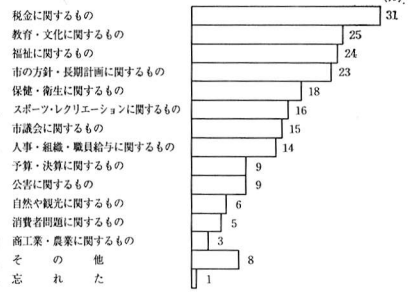


(図5)

「市の発展に影響しているの、ない方がいい」が12%、「必要施設と思う」が、福生市にあるのは困る」が5%で合計17%が否定的立場となっています。

市政に関する情報

図6 知りたかった情報



知りたかった情報として「税金に関するもの」がもっとも多く、30歳代、40歳代の男性及び就業者、家族形成期の人が多く、また「教育文化」に関しては、男女とも20歳代事務技術系勤めの人、家族形成期の人、「福祉」に関しては30歳代の女性、「市の方針、計画」に関しては60歳代以上の男性がそれぞれ多くあげています。(図6)

市政を知る手段として「広報ふっさ、市のお知らせ」をあげた人は88%で「町会、自治会(回覧板)を通じて」が44%ありました。

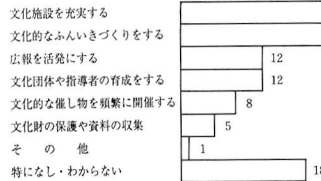
市民文化

市民文化を豊かにするために推しすすめていくべきこととして、「文化施設を充実する」「文化的なふんいきづくりをする」が2本

柱としてあげられ(図7)、公共施設をつくっていくうえでは、「緑を生かすなど自然との調和をはかる」ことに配慮すべきだとされています。

市の行事の中では「七夕まつり」を見に行った人が83%あるなど、まつりへの参加経験がある程度多いのに対し、文化、スポーツ関係は、やや少なくなっています。

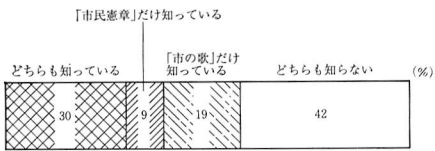
図7 市民文化施策



市民憲章と市の歌

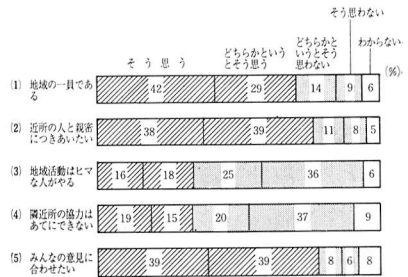
昭和55年7月に市制10周年を記念して制定された「市民憲章」があることを知っているのが39%、「市の歌」は49%となっており「市の歌」の周知度の方が高いです。(図8)

図8 「市民憲章」・「市の歌」周知度



コミュニティ

図9 地域社会とのかかわり



市民の地域社会とのかかわりについて、その積極性を問うたところ(1)・(2)・(5)では賛意を示す人が多く、(3)・(4)では逆に否定する人が多い。このことは、市民のかかわり方が積極的であることを示しています。(図9)

また、住みよい地域づくりの活動は「自治会、町内会などの活動」38%や「防犯や交通安全のための活動」32%などを積極的に行うべきだという意見が多くあげられています。

知りたい地域の情報は、「公共施設の利用案内」や「サークルの活動」が主なもので、「掲示板、回覧板、ポスター」や「自治体の広報紙、パンフレット」などによって知ることが多くなっています。

図10 家庭での夫婦の役割分担

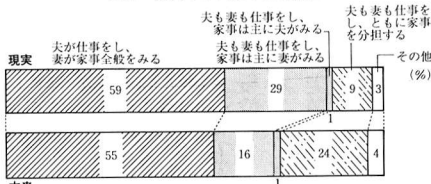
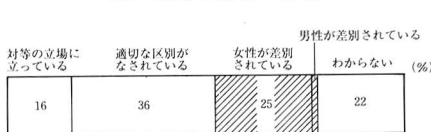


図11 男女の地位・立場



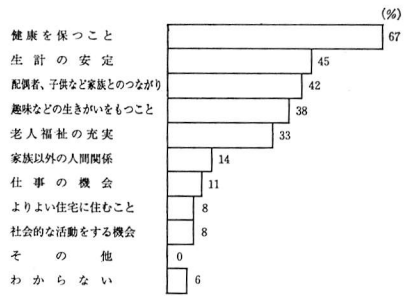
男女の平等意識

家庭における夫婦の役割分担について、現実と本来あるべき姿を比べてみると、共働きの夫婦による家事の扱いに違いがあらわれています。(図10)

職場での男女の地位や立場については「女性が差別されている」とみる人が全体では25%あり(図11)、男女別で見ると、男性17%、女性31%の割合となっています。

また、3人に1人は「女性の就業機会が与えられていない」と思っており、職業を持つうえでの障害は「家事・育児との両立や家族の協力など家庭内の問題」が過半数を占めています。

老後 図12 老後生活での重要な点

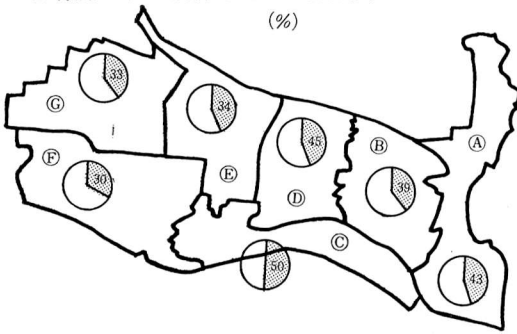


老後の不安としては、「健康のこと」をあげ、老後生活での重要な点も「健康を保つこと」と、どちらも3人に2人の割合で2位以下を大きく引き離しており、とにかく、健康第一ということです。(図12)

施策の要望

これからの市政に対して、力を入れていくうえで、要望の多い順は、別表のとおりで、上位3位までは、前回調査と同じ結果ですが「騒音などの公害対策」11%「社会福祉対策事業」が5%とそれぞれ増となっています。公共下水道については、整備が大きく進展したことがうかがえます。以上が今回の調査のあらましです。

地域別にみた騒音などの公害対策 (%)



本調査にご協力をいただきました市民の皆さんに心からお礼を申し上げます。

(年度別の比較)

	60年	57年	53年
① 騒音などの公害対策	38%	27%	11%
② 社会福祉対策事業の推進	31	26	24
③ 青少年の非行防止対策	26	26	—
④ 検診などの保健衛生対策	18	15	15
⑤ 樹木などの緑地保全対策	17	13	16
⑥ 地震などの防災対策	17	17	17
⑦ 道路や排水の整備	12	16	27
⑧ 公営住宅などの住宅対策	12	17	24
⑨ 歩道や信号機などの交通安全対策	12	11	19
⑩ 社会教育の充実	12	11	10
⑪ 自転車整備対策	12	11	—
⑫ 学校教育施設の整備充実	10	11	20
⑬ じまやびなどの衛生対策	8	13	16
⑭ スポーツの施設や内容の充実	8	9	—
⑮ 公園の整備充実	8	8	15
⑯ 保育園などの児童施設の整備充実	7	9	18
⑰ 商工業の振興対策	6	7	9
⑱ 公共下水道の整備	5	12	32
その他	3	1	不明
特になし	8	6	不明

(○内は順位 ※は項目なし)

母子家庭私立高校等

入学金貸付制度

お子さんが、今年4月に私立高校・私立高校専門学校に入学される母子家庭で、都内に6か月以上居住し、所得税が非課税の方に、20万円を限度とした入学金貸付制度があります。ご利用ください。お申し込みは、東京都母子寡婦福祉協議会(☎03-5677-7237・7238)へ。

くわしくは、母子寡婦福祉会、有村(☎52-0075)または福祉事務所福祉第二係(☎51-1511内線324)へ。

国民年金だより

サラリーマンの奥さんの加算額(振替加算)

サラリーマン(厚生年金保険の加入期間が20年以上必要)の妻の場合、現行法の国民年金に任意加入している方は、保険料納付実績に基づいた年金が受けられますが、任意加入していない方の場合には加入実績が少ないため少額の年金しか受給できませんので、経済的に加算する制度(振替加算といえます。)が設けられました。

サラリーマンの妻の振替加算額

生年月日	施行日の年齢	加算額	
		年額	月額
大正15年4月2日~昭和2年4月1日	59歳	180,000円	15,000円
昭和5年4月2日~昭和6年4月1日	55歳	160,700円	13,392円
昭和10年4月2日~昭和11年4月1日	50歳	136,800円	11,400円
昭和15年4月2日~昭和16年4月1日	45歳	112,900円	9,408円
昭和20年4月2日~昭和21年4月1日	40歳	88,700円	7,392円
昭和25年4月2日~昭和26年4月1日	35歳	64,800円	5,400円
昭和30年4月2日~昭和31年4月1日	30歳	40,900円	3,408円
昭和35年4月2日~昭和36年4月1日	25歳	16,700円	1,392円
昭和40年4月2日~昭和41年4月1日	20歳	12,100円	1,008円

これは夫である厚生年金の受給者に生計維持されている妻がいる場合は、配偶者加給がされていますが、この加給部分は妻が65歳になった時点で打ち切れ、今度は妻自身の老齢基礎年金へ振替加算されるという仕組みです。この振替加算と、施行日(昭和61年4月1日)以後の加入期間に基づく老齢基礎年金の額を合わせ、妻自身の老齢基礎年金として支給されます。

道路への散水にご注意を

寒さが一段と厳しくなってきました。日の出前、日没後の散水は路面の凍結を招き、思わぬ事故を起こす原因となります。お互いに散水には十分気をつけましょう。

全国中学生人権作文コンテスト

東京都
東大

優秀作文に

三中の石川理恵さん



全国中学生人権作文コンテスト
東京都大会の優秀作文入選者が決
まりました。

多摩15市5町55校、6221点
(うち福生市150点)の応募が
あり、福生市では、三中の石川理
恵さん(3年)が優秀作文に選ば
れました。

石川さんは、作文表題「人権に
ついて」と題して、「私は、人を
傷つけていないつもりでも、人を
傷つけていたのです。そのような
事をなくすには、どうしたらよい
でしょう。やはり、相手のことを
自分のことと同じくらいに考えれ
ばよいと思います。簡単なことで
はないけれど、私は、常に人の気

持ち、立場を考える癖をつけたい
と思います。また、一人でできな
い事は二人で、二人でできない事
は……と、お互いに協力し合えば
よいでしょう。これらのことは私
にとってこれからの課題です。」
と書いています。

基本的人権は大切なものです。
大切なものだからこそ一人ひとり
が、人間性の尊重・人権の擁護に
ついて真剣に考えたいものです。

人間が、人間としてふさわしい
人生をਅゆんでいくために、すべ
ての人が、石川さんのように自分
をとりまく環境やでき事について
素直な気持ちでうけとめ、考える
ことが、平和な世界を築く礎とな
ることだと思います。

—まもろう人権 なくそう差別—

昭和61年度

学童保育所入所児童受付

小学校1年生から3年生までの
児童で放課後帰宅しても保護者が
働いていたり、病気等で適切な監
護を受けられない児童が対象で
す。ただし、心身に著しく障害の
ある児童は除きます。なお、すで
に入所している児童も申請してく
ださい。

▽学童保育所及び実施対象校

・扶桑クラブ (第一小学校
通学児童) ☎51-6732

・タンポポクラブ (第二小学校
通学児童) ☎52-0717

・福祉会館クラブ (第三小学校
通学児童) ☎52-2121

・わかぎりクラブ (第四小学校
通学児童) ☎51-8165

・わかたけクラブ (第五小学校
通学児童) ☎52-0445

・かめの子クラブ (第六小学校
通学児童) ☎52-0446

・でんえんクラブ (第七小学校
通学児童) ☎53-3756

▽保育時間 下校時から午後5時
まで、ただし夏、冬、春休み等
は午前8時30分から午後5時ま
で行います。

▽費用 1人 月額2000円
(教材及び間食費)

▽申込期間 2月1日〜20日

▽申込書配布 1月22日(水)か
ら福祉会館窓口または各クラブ
で配布します。

▽申込場所 福生市社会福祉協
会事務局(福祉会館内)へ。な
お、くわしくは、福生市社会福
祉協議会事務局(☎52-212
1)へお問い合わせください。

指名参加願い追加受付

2月3日〜7日まで

昭和61年4月1日から昭和62年
3月31日までの1年間、福生市が
発注する各種工事の請負・設計な
どの委託及び物品の購入などの指
名競争入札等に参加を希望される
方は、次の方法で指名競争入札参
加願いを提出してください。

なお、昭和60年2月に指名参加
願いを提出した方は、今回提出す
る必要はありません。

受付期間 2月3日(月)〜7日
(金)午前8時30分から午後5時
まで。(ただし、正午から午後1
時までは除きます。)

受付場所 管財課契約係

申請方法

①申請書の様式は、東京都に準じ
ます。ただし、建設業の方は、経
営事項審査申請書(東京都の受付
印のあるもの)の写しを添付して
ください。

②市内に営業所があり法人の場合
には、前年度の事業年度分にかか
る法人市民税、固定資産税の納税
証明書。個人の場合には、昭和60
年度の市都民税、固定資産税の納
税証明書を添付してください。

くわしくは、管財課契約係(☎51
-1511内線256)へ。

フォトニュース



—12月1日(日) 第8回福祉バザー—

押すな押すなの大盛況

毎年恒例となりました福生市社会福祉協議会主催「福祉バザー」が福祉会館で行われ、日用品や衣料品、食料品が市価より4〜5割安で販売され市民約1,000人で押すな押すなの大盛況でした。収益金は3,022,103円になり社会福祉に役立てられます。また、品物をご寄付いただきましたご家庭、商店、事業所の皆さんにはご協力まことにありがとうございました。

—12月16日(月) 森田さんエチオピアへ—

市長を表敬訪問

熊川の森田敬さん(26歳)は、家業の水道事業を手伝うかわら青年海外協力隊に応募を決意し、見事に合格、3か月間の訓練を経て、上下水道部門の担当として昨年末に他の7人とともに、エチオピアに向けて出発しました。出発に先立ち、市長を表敬訪問した森田さんに対し、市長が「体に気をつけて、しっかり頑張ってください」と激励しました。現地での活躍が大いに期待されます。

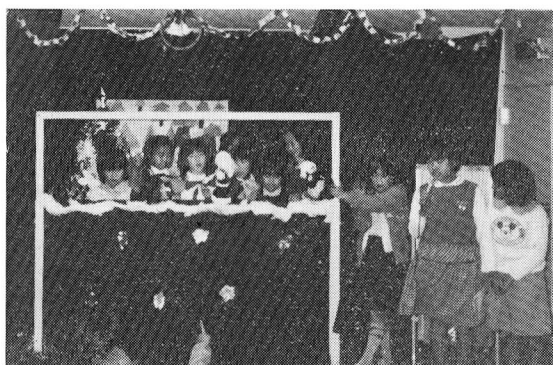


—12月18・20・23日 図書館のクリスマス会—

クリスマス会にお母さんたちも参加

わかぎり・わかたけの各分館では子どもたちが中心になり、中央図書館では職員が中心となってそれぞれ楽しいクリスマス会が行われました。

子どもたちやお母さんたちによる人形劇、合奏、歌やマジックショーなど盛りだくさんのプログラムが組まれ各会場は満員。来年のクリスマス会はどんな企画になるのか今から楽しみです。



—12月19日(木) 善行表彰—

消火活動で6人を表彰

福生二中の平石護君、町田明義君、小倉正明君、黄島光春君、阿部和茂君と福生一中の佐藤勝洋君の6人は、一昨年11月3日午後3時ごろ、国鉄八高線東福生駅前広場で遊んでいた際、広場南側にある都経済農協連合会の倉庫から煙が出ているのを発見、すぐに119番通報し、ホースで水をかけて延焼を防ぎました。福生市青少年問題協議会では、消火活動に功績があったと、善行表彰を行いました。



2月の休日診療所

今月の休日診療所の開設日及び開設場所(開設医療機関)は、次のとおりです。

内科・小児科(昼間)診療所

▽開設日 毎休日

▽開設場所 健康センター

▽診療時間 午前9時～正午
午後1時～5時

内科・小児科(準夜)診療所

▽開設日および開設場所

・2月2日(日) 堤 医院

所在 羽村町 ☎54-2418

・2月9日(日) 中村医院

所在 福生市 ☎52-1031

・2月11日(祝) 三井クリニック

所在 福生市 ☎53-1471

・2月16日(日) 村山医院

所在 羽村町 ☎55-2221

・2月23日(日) 河野医院

所在 羽村町 ☎54-7720

▽診療時間 午後5時～10時

歯科休日診療所

▽開設日および開設場所

・2月2日(日) 大塚歯科医院

所在 秋川市 ☎59-6328

・2月9日(日) 瀬沼歯科医院

所在 秋川市 ☎58-0616

・2月11日(祝) 山本歯科医院

所在 福生市 ☎52-5211

・2月16日(日) 松永歯科医院

所在 福生市 ☎52-7122

・2月23日(日) 高取歯科医院

所在 五日市町 ☎96-0048

▽診療時間 午前9時～正午
午後1時～5時

※医療機関が変更する場合もありますので、ご確認ください。

じんましん

—福生市医師会だより—

赤く腫れあがった発疹と「かゆみ」を伴うじんましんを多くの人を経験しているのではないでしょう。サバやエビを食べてじんましんが出るなどの単純なものであれば、それを食べなければ発病しませんが、実はこのようなものはいくつもあります。自分自身毎日食べ物をきちんと記載して、何が原因しているのかさがしても、分からないのが多いのです。その上、種々の抗原検査を実施しても、原因物質を見つけることが少ないのが実情です。それではじんましんの原因となるものには一体どのような場合があるのでしょうか。

① 感染性じんましん

ビールス感染(感冒を含む)や細菌感染が原因で発症するもの。

② 機械性じんましん

機械的刺激が加わったために発症するもの。ひっかいたり、買物かご、ハンドバックが当たる部位に出たり、肌着のゴムの刺激の場合もある。

③ 寒冷じんましん

水や冷気に触れて発症するもの。体温が36度5分ですので30度の水や物質でも寒冷じんましんを起すこともあります。

④ 温熱じんましん

温熱に触れて発症するもの。

⑤ コリン性じんましん

運動や入浴、食事によって体が暖まった時、あるいはストレスに反応して緊張した時に、身体中心部から始まる点状じんましんです。

⑥ 日光じんましん

日光照射によってその部位に生じるもの。

⑦ 食事性じんましん

魚、肉、ソバ、牛乳、鶏卵の他に小麦が関係する人もいます。パンやビスケットが原因になると分かりにくくなります。

⑧ 薬物性じんましん

△アレルギー性▽

ペニシリン、セファロスポリン

等の抗生物質

△非アレルギー▽

● アスピリン 解熱の薬剤の他にアスピリン塩を多く含む食物(ジャガイモ、キュウリ、トマト)が関係することがあります

● 食品添加物 防腐剤が関係することがあります。

⑨ 接触性じんましん

卵白、トマト、エビの外とう粘液、魚の身などが毛穴を通じて真皮に入りこむものと思われる。

これらの原因も生まれた時から過敏というわけではなく、虫に刺されたり、予防接種、血清注射、輸血などしているうちに過敏になっていく場合があります。また、胃腸の障害のため蛋白質が異常な状態で吸収されてじんましんを起すこともあります。原因不明の慢性じんましんも多く、本人はもとより、医療担当側の私達も困る例もたくさんあります。この場合発症前から皮膚の毛細血管の周囲に炎症性の細胞の増殖がおきていて、非特異的な刺激によって、アレルギー反応をひき起こすヒスタミン等の化学物質が容易に出現し、じんましんを発症させるもので、治療をしないと数年にわたって、ほぼ毎日発疹ができるやっかいな場合も多いのです。

郷土資料室だより

ありがとうございます

資料のご寄付

郷土資料室では郷土の歴史や民俗(生活)、自然(動植物や地質など)に関する資料を収集し保存しています。展示できる(一つのテーマとしてまとまったもの)状態にあるものは、郷土資料室で展示したり、学校教材として貸し出したり活用させていただきます。今回、次の方々から資料のご寄付を受けましたのでお礼を申し上げます。

- 歴史資料 144点
森田 豊氏(武蔵野市)
- 民俗資料 1点
松永貞雄氏(熊川)
- 歴史資料 5点
峰岸秀雄氏(熊川)
- 民俗資料 5点
森田源助氏(福生)
- 民俗資料 2点
林 幸男氏(熊川)
- 民俗資料 2点
浜野絹三氏(福生)
- 民俗資料 1点、歴史資料 1点

熊川村初代村長
▲森田退蔵翁座像



- 民俗資料 1点、歴史資料 1点
木内倉吉氏(熊川)
- 民俗資料 1点
久野木トミ氏(加美平)
- 歴史資料 3点
内川忠敬氏(福生)
- 民俗資料 2点
細谷良暉氏(本町)
- 歴史資料 1点
野島みち子氏(熊川)
- 歴史資料 1点
山口君江氏(所沢市)
- 民俗資料 4点
河辺富吉氏(志茂)
- 福生天王囃子録音テープ
福生天王囃子保存会
- || 只今展示中 ||
植物標本 — シダ類 —
市内に自生するシダ植物の標本を展示しています。



熊川村地頭

田沢氏・長塩氏の墓

江戸時代の熊川村は幕府の直接支配する地域と旗本の支配する地域(二箇所)に分かれ、それぞれ名主などの村役人が置かれ、独自に村の運営がなされてきました。内出地域は旗本田沢氏の領地で、その墓が真福寺にあります。鍋ヶ谷戸地域は旗本長塩氏の領地で、やはり福生院にその墓が



▲旗本長塩氏の墓



▲旗本田沢氏の墓

あります。昭和52年に長塩氏の墓が、昭和57年に田沢氏の墓が、それぞれ市史跡として指定されています。田沢氏及び長塩氏は、ともに元は甲斐・武田氏の家臣でしたが、武田氏滅亡後、天正十年(一八五二)に徳川氏に仕え、その後、熊川村を領知しました。田沢氏領熊川村は二百四十六石、長塩氏領熊川村は百十八石です。明治期の地誌には、田沢氏邸地や田沢氏累代墓跡が古蹟として記されています。また、熊川神社の再建棟札(正保三年・一六四六)には寄進筆頭人として名が記されています。

参加してみませんか



— この指とまれ —

市民体育館 ☎52-5511
 市民会館 ☎52-1711
 公民館(本館) ☎52-1711
 松林会館 ☎52-3624
 (公民館分館)
 白梅会館 ☎53-3454
 (公民館分館)
 図書館
 ●中央図書館 ☎53-3111
 ●わかぎり分館 ☎52-7421
 ●わかたけ分館 ☎51-0083
 郷土資料室 ☎53-3111
 —上記の施設は火曜休館日—
 田園会館 ☎52-3133
 —児童施設は日曜休館日—
 —地域会館は火曜休館日—

スポーツ教室

① 婦人健康教室

▽期間 1月24日～3月14日 毎週金曜日
 ▽時間 午前10時～正午
 ▽対象 婦人

② 老人健康教室

▽期間 2月6日～3月27日 毎週木曜日
 ▽時間 午後1時30分～午後3時30分
 ▽対象 高齢者
 ※①、②の教室の申し込みは、当日直接、会場においでください。

③ 親子スポーツ教室

▽期間 2月1日～3月15日 毎週土曜日
 ▽時間 午後2時～3時30分
 ▽定員 20組

④ インディアカ教室

▽期間 1月24日～3月28日
 ▽時間 水曜日コース 午前10時～正午 金曜日コース 午後7時30分～午後9時
 ※③、④の教室の申し込みは、1

月20日(月)から、市民体育館にて受け付けます。
 ※場所はいずれも市民体育館です

スキーツアー in 志賀

ポールをメインにした楽しいスキーツアーに参加しませんか。初心者でもすぐにできます。

▽日時 2月8日(土)～11日(火) 3泊4日(車中1泊) 8日(土) 午後9時市民体育館集合

▽場所 北志賀高社山スキー場

▽費用 2万8千円

▽定員 先着45人

▽申込み 申込書(市民体育館にあります)に必要事項を記入のうえ申込金5千円を添えて申し込んでください。

▽問合せ 市民体育館内、渡辺へ。

▽主催 福生市スキー連盟 ※ポールでの大会は市民総合体育大会として開催いたします。

たこ 凧づくり教室

大空に舞う凧を作ってあげてみよう。

▼Aコース

▽日時 1月29日(水)・2月12日(水) 全2回 午後2時～5時
 ▽対象 小学3年生以上

▼Bコース

▽日時 2月14日(金) 午後3時～5時
 ▽対象 小学1・2年生

◎A・Bコースとも

▽場所 田園会館
 ▽費用 材料費自己負担
 ▽定員 先着20人
 ▽申込み 1月21日(火) 午前9時から田園会館へ。

子どもアウトドア教室

大都會をたんけん

▽日時 2月1日(土)・15日(土) 3月2日(日)・8日(土) 午後2時～4時(ただし、3月2日は午前9時～午後5時)

▽場所 公民館及び野外

▽内容 青山の子どもの城(国立児童センター)を、子ども自身の力でたんけん。子どもの自主性、社会性を育てます。

▽対象 小学校3年生～中学校3年生

▽定員 先着30人

▽申込み 1月20日(月)から公民館へ。

第47回市民名画劇場

ワンス・アポン・ア タイム・イン・アメリカ

▽日時 1月25日(土) 午後1時30分～午後6時 2回上映

▽場所 市民会館小ホール ※入場無料

▽定員 各回とも先着260人 ※午後6時の上映は、中学生以下は保護者の同伴が必要です。

▽問合せ 市民会館へ。

ふっさスプリングコンサート

▽日時 2月9日(日) 午後2時開演

▽場所 市民会館大ホール

▽出演 中村絃子・三石精一・読売日本交響楽団

▽入場料 全席指定 3500円

▽プレイガイド 市民会館、市役所市民相談係

▽西友福生店(3階チケットセゾン) かつばみ楽器店、井上商店(五日市町)

▽電話予約・問合せ 市民会館へ。

子どもフェスティバル

リーダー募集

子どもたちによるおまつりをお手伝いして下さる中学生以上の方を募集しています。

1月26日(日) 午後2時から話し合えます。

▽問合せ 松林会館へ。

福生市に飛来するコサギ



コサギ

シラサギの中ではもっとも小さく全身白色で、嘴と脚は黒色で足

指は黄色です。繁殖期には頭に2本の長い冠羽、背に先のまき上がった飾り羽をつけます。多摩川を歩けば一年を通じて見られます。

表紙は語る

〈がんばれサークル⑩〉

「あけまして

おめでとうございます」

今年も「広報ふつき」をよろしくお願い申し上げます。

昭和61年の新春を寿ぎ、元旦から活動している『志茂町囃子連』をご紹介します。

「あけましておめでとうございます」今年も「広報ふつき」をよろしくお願い申し上げます。昭和61年の新春を寿ぎ、元旦から活動している『志茂町囃子連』をご紹介します。



志茂町囃子連は、東京都郷土芸能協会の指定を受け、毎週火・金曜日に小学3年生から大人まで41人の会員がそれぞれ稽古を重ね、夏祭りや桜まつり、文化祭等に見事な腕前を披露しています。今年も元旦早々から志茂町内を明るく門付けして回っていました。

「がんばれ」志茂町囃子連